

親子で考える AI時代の歩き方





CDLE名古屋
リーダー



CDLE生成モデル
サポーター



AIプログラミング
リーダー

CDLEでの主な活動



CDLE名古屋をゼロから立ち上げ、
東海エリアを中心にAIの情報発信・交流を推進



大阪・関西万博や東京AI祭など、
各種イベントに出展・登壇



生成AI×プログラミングを組み合わせた企画
「チャットモン (Chat Monster Battle)」などを展開



学び・実験・社会実装をつなぐ
コミュニティ活動を実践



チャットモン

※CDLEは、日本最大のAIコミュニティです。

AIサービスの年齢要件と未成年者向け制限（目安）



一般の人が最新規約を追うのは難しいため、
まずは下記を目安にご判断ください



Web上のチャット型AI



13歳未満



原則利用不可



13歳以上
18歳未満



保護者の同意・管理の
もとで利用可が多い



18歳以上



通常利用できる
場合が多い

※ サービスにより例外あり（例：Claudeは18歳未満不可）



APIをアプリ・教育
サービスに組み込む場合



Webチャットより条件が厳しい



18歳未満向け
提供が禁止の
ケースが多い



厳格な
安全対策が
必要



保護者同意が
必要な場合あり



法令遵守が
必須

※ 年々厳しくなっていく傾向にあります

子供・学生のコンテスト応募でのAI利用の考え方（目安）

年齢区分
（目安）



AIを使って作品を作る



AIを作品に組み込む（API）



13歳未満



本人の直接利用は避ける

- 保護者が代わりに入力・管理
- “子供の考えを保護者がAIで整理した”と説明できる形が望ましい



13歳以上
18歳未満



**保護者の同意・管理があれば
利用可が多い**

- AIを使って作った作品の応募は基本可能



基本的に不可と考える

- API利用は条件がさらに厳しい
- 作品への組み込みは避ける



応募規定とAI利用ルールは必ず確認

各コンテストの要項・各AIサービスの最新規約を確認

※ 子ども向けコンテスト、展示会等の運営をする場合は、きちんとした応募規定を作成し、応募者が迷わないようにしましょう。

小中学生のAI利用は『だれが管理するか』で考える

使える・使えないを一律に決めるのではなく、管理者・目的・使い方で整理する

学校・教員の管理のもとで使う



年齢目安：小学校高学年～中学生以上

例：教育機関向けAI、
Google Workspace for Education、
Canva for Education

- ・教員や学校管理者の設定が前提
- ・ログ確認、フィルタリング、個人情報保護が重要
- ・授業や学習目的に合わせて利用

保護者と一緒に使う



年齢目安：小学生は保護者が操作
中学生は保護者同意・見守り

例：Family Link経由のGemini、
親子で使うChatGPT

- ・小学生は本人単独ではなく、保護者が操作
- ・中学生は保護者同意・見守りを前提
- ・質問内容や回答を一緒に確認する

小学生以下でも安全なコンテンツ



きみがつくる
AIモンスターで
環境を守れ！
はココ！

年齢目安：未就学児～小学生

例：AutoDraw など

- ・AIへの入り口としてわかりやすい
- ・AIの仕組みに触れる体験向き
- ・低リスクでも大人が確認



一般向けAIチャットは、小学生の単独利用には向かない

ChatGPT：13歳未満は対象外、13～17歳は保護者同意が必要

Claude：18歳以上

利用条件は各サービスの最新規約で確認



学校で使う場合は、年齢条件・保護者同意・情報セキュリティなどを確認

AI教育で大切な4つのこと

AIは便利。でも、考える力をのこそう

1 先に自分で考える



すぐに答えを聞かず、
まず予想・メモ・話し合い。

★ 失敗して考える時間が学びになる

Bastani et al., 2025 / Productive Failure

2 AIの答えをたしかめる



『本当かな?』と、
理由・まちがい・別の見方をチェック。

★ AIで『わかったつもり』になりやすい

Fernandes et al., 2024

3 AIなしでも説明する



自分の言葉で説明できたら、
本当にわかったサイン。

★ 考えを外にまかせすぎない

Risko & Gilbert, 2016

4 なおして学ぶ



作文もプログラムも、
AIの答えを読む・直す・比べる。

★ 丸ごと任せるより、直しながら学ぶ

Kazemitabaar et al., 2023

✨ **ゴール：『AIを使える子』より『AIをうたがい、えらべる子』** 

参考：Long & Magerko (2020), AI4K12, Risko & Gilbert (2016), Bastani et al. (2025), Fernandes et al. (2024), Kazemitabaar et al. (2023)

AIが危険なのは、『正解を求める教育』とかみ合いすぎること

知識を詰め込む教育に、AIの『正解らしい答え』が入り込む危うさ

正解を求める教育では



- 答えを覚える
- ミスを避ける
- 早く正解する
- 与えられた答えを信じる
- 経験より知識が優先される

学びの途中にある経験が、
置き去りになりやすい



教育の
弱点を、
AIが増幅する

そこにAIが入ると



- すぐ答えが出る
- きれいに説明される
- わかった気になる
- 試す前に終わる
- 失敗する機会が減る

経験する前に、
『正解らしい答え』で満足してしまう



AIの危険は、答えを出すことではなく、
試す・迷う・失敗する・考える経験を飛ばしてしまうこと。

問うべきなのは、『どれだけ早く正解したか』ではなく、『どんな経験を通して理解したか』。



AI時代に乗り遅れる不安に振り回されない

「AIを使えないと終わる」ではなく、AI時代に必要な力を育てる



不安をあおる言葉

- 使えないと生き残れない
- 今すぐ全部覚えないと遅れる
- 最新ツールを知らないと終わり
- 乗り遅れたら取り返しがつかない

✕ AIを使いこなせないと生き残れない

焦りから、
育成へ



本当に大切な力

- 学び続ける力
- 情報を見極める力
- 問いを立てる力
- 人と協力する力
- 自分の経験・強みを育てる力
- AIを道具として使う判断力

○ AI時代に必要な能力を身につける



AIだけでなく、自分だけの価値を育てる

焦る必要はありません。AIを追いかけるだけでなく、自分で考え、学び、判断できる力を育てればよい。

AI時代にプログラミング教育をすすめる理由

AIに使われるのではなく、AIを活かす力を育てる

≧ プログラミングは、AI時代の“考える力”を育てる学び ≦



論理的に考える力

順序立てて考え、課題を整理する力が育つ。AIへの指示や問題解決の土台になる。



失敗しながら成功する体験

試して、直して、完成させる経験を通して、粘り強さと試行錯誤する力が育つ。



AIを使う側の思考力

AIは作業を助けられても、問いを立て、判断する力までは肩代わりできない。



アイデアを形にする力

アプリや作品づくりを通して、自分の関心や強みを価値に変えられる。



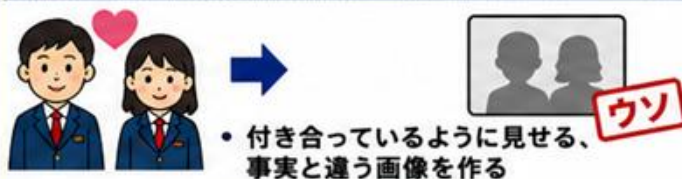
CoderDojo など、無料で学び・発表できる場を活用しよう

仲間と一緒に作り、競い、発表する体験が、学びをもっと深くする。

ディープフェイクは重大な犯罪です

本物のクラスメートの顔を使って、ウソの画像や性的な画像をAIで作ること、LINEなどで広めることは、悪ふざけではありません

① 何が起きている？



うその画像でも、被害は本物

② それはどんな行為？



- 相手の尊厳を傷つける
重大な加害行為



- 性的ないじめ・名誉毀損・
人間関係の破壊につながる



- 「子どもの悪ふざけ」で
済ませてはいけない



- 軽いことではなく、泥棒や殺人の
ように“**重大な犯罪**”として
教える必要がある



- 友人関係や学校生活を
深く壊す行為である

軽く考えてはいけない

③ 子どもと親が取るべき態度



- 子ども：作らない・送らない・
保存しない・広めない



- 子ども：見つけても面白がらず、
大人に**すぐ相談する**



- 親：「大したことではない」と
軽く見ない



- 親：**重大な犯罪**として厳しく叱り、
責任を理解させる



- 見つけたら保存せず、
削除し、通報する

親も本気で止める



AIで作ったウソ画像の拡散は、人の人生を壊しかねない

相手の心・名誉・学校生活・友人関係を深く傷つけます。本人の顔・名前・画像を勝手に使わないこと。



面白さより、相手の尊厳と安全を守る

子どもは重大な犯罪として学ぶ。親は軽く考えず、厳しく止める。



AIは便利。でも“考えることをやめる”と危険



AIは、正しく使えば強い味方。でも、使い方を誤ると思わぬトラブルにつながります。

AIは“道具”。
答えをそのまま
信じないでね

最後は自分で考えて、
しっかり判断しよう！



イリネン



くるね

考えるのをやめると...



大事なポイント

AIの答えをそのまま行動に移してしまうことがあります。
だから、こどもがAIを使うときは
“ひとりで自由に使わせない”ことが大切です。

AIは車や刃物と同じ

便利でも、使い方を誤れば危険です

AI



車



刃物



AIの答えをそのまま**実行**しない



結果やリスクを**想像**する



迷ったら**大人**に相談する



AIを使う前に、**考える**。困ったら、**大人に相談**する。

